

# ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の自己負担の軽減可能額に関するお知らせ

健保 一郎 様

平成〇〇年〇〇月分の薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代は、

**1, 000円～** の自己負担の軽減が見込まれます。

(100円未満切り捨て)

- ▶ 平成〇〇年〇〇月分 の処方実績をもとに、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の最小の軽減可能額の見込み額を試算しています。
- ▶ 試算は薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、薬代以外の診療や調剤等に要する費用が含まれています。

## 明細

この明細は、平成〇〇年〇〇月分 の処方の実績をもとに、処方された医薬品(先発医薬品)と、主成分が同一のジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できる自己負担額をご紹介します。

過去の処方実績 (平成〇〇年〇〇月分)					ジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できる自己負担額 (※3)
医療機関・薬局区分 先発医薬品名等 (※2)	薬の単価	数量	単位	薬代(※1) (3割負担)	
薬局					
◎◎錠 5.5mg	141.7	30.0	錠	1,270	420～
◎◎錠 5.5mg	83.7	30.0	錠	750	350～
◎◎錠 0.5mg	72.5	30.0	錠	650	270～
小計				2,670	1,040～
薬局					
◎◎錠 5.5mg	83.7	30.0	錠	〇〇〇	〇〇〇～
ジェネリック処方分				〇〇〇	
小計				〇〇〇	〇〇〇～
医療機関					
◎◎錠 5.5mg	141.7	30.0	錠	〇〇〇	〇〇〇～
ジェネリック処方分				〇〇〇	
小計				〇〇〇	〇〇〇～
合計				2,670	1,040～

※1 試算は薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、薬代以外の診療や調剤等に要する費用が含まれています。医薬品の価格が下がっても、処方せん料などの有無により、実際の支払金額は先発医薬品使用時と変わらないか、上がることもあります。また、国や市区町村から医療費助成を受けている場合には、実際の支払金額と異なる場合があります。

※2 この明細に記載している先発医薬品は、長期服用されると思われる薬であり、短期処方の薬などは記載されていません。

※3 ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合がありますため、実際の軽減額にも幅がありますので目安としてご利用ください。

注1 この明細は、医療機関・薬局から請求のあったデータに基づいて作成しています。多くの薬を処方されている場合は軽減できる金額が大きいものから順に記載しており、この明細に記載しきれない場合があります。

注2 先発医薬品とジェネリック医薬品とは主成分が同一ですが、使用できる病気(効能)が異なるなどの理由で切り替えることができない場合があります。また、全ての先発医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。

注3 同じ医薬品(先発医薬品やジェネリック医薬品)であっても、個人によって効き方や副作用などは異なる場合がありますので、医薬品に関する詳しい内容は医師または薬剤師にご相談ください。

